

令和4年度

十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道 活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道	報告者:十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道 代表 高木 修一	報告年月日:2023/3/31
---------------------------	----------------------------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	R4					総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	
景観	<ul style="list-style-type: none"> 地域の顔としての美しい沿道景観創り 地域の思いを反映した景観づくりのためのルール設定 訪問者に満足してもらうための情報共有 	花壇整備プロジェクト	花壇整備	大樹町部会	令和4年5月～10月	参加人数:延べ120名程度	—	今年度も各町村の地域部会が主体となり、沿道の花壇整備を実施している。毎年実施されており、訪れる人々の目を楽しませている。
		清掃活動	—	—	—	—	—	—
		景観改善	—	—	—	—	—	—
		景観ポイント	—	—	—	—	—	—
地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> 地域を盛り上げるイベントに取り組む 地域の活動を活かし、より大きな活動につなげる 連携の輪を広げ、活動を大きく育てる 	シーニックカフェ	シーニックカフェ	南十勝夢街道	令和4年4月～令和5年3月(カフェにより期間異なる)	カフェ4箇所	—	シーニックカフェちゅうるいは軽音楽コンサートや無料コーヒー提供サービス等が好評で、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の対策をしながら開催し、たくさんの来場があった。ルート内のシーニックカフェと連携して、来訪者への情報発信とともに地域の魅力を伝える活動を今後も継続していく。
		勉強会・研修会	—	—	—	—	—	—
		情報共有・情報発信	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—
		地域連携	シーニックカフェスタンプラリー	南十勝夢街道	令和4年7月16日～9月30日	応募10人(カフェ4箇所)	A — 2	ルート内のシーニックカフェと連携して地域の情報発信を行うため、ルート独自のシーニックカフェスタンプラリーを開催した。今後も新規登録場所を探しながら、継続的に開催していく予定である。
	北海道ガーデン街道との連携事業:人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト	シーニックバイウェイ&ガーデン街道 美しい北海道景観を育てる会	令和4年4月～令和5年3月	主催者:60名程度	—	北海道ガーデン街道、十勝シーニックバイウェイ3ルート、大雪・富良野ルートの連携で次世代に良い景観を継承していくための植樹や景観保全の連携事業を実施。今後も継続して実施していく予定である。		

十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

TOKACHI Scenic Byway MINAMITOKACHI YUMEKAIDO

活動名：フォトコンテスト & フォトコンテストカレンダー作成 & フォトコンテスト巡回作品展

【概要】

フォトコンテストの開催及びコンテスト入選作品から作成するフォトコンテストカレンダーの作成及び販売は、候補ルート時から継続して実施している活動である。フォトコンテストは、地域の魅力を発信しエリアに訪問して頂く機会を作るため、平成18年より実施している活動で今年度で17年目である。管内だけではなく管外・道外、幅広い地域より多数の応募があり、フォトコンテストの取組が着実に根付いている。また、入賞作品の巡回作品展（6箇所：各2週間程度）を開催した。この活動は、本ルートの景観の素晴らしさを多くの方に知ってもらえることから、継続的に取り組む予定である。

【日時】 作品募集：令和4年7月1日（金）～9月30日（金）

カレンダー販売：令和4年11月～令和5年1月

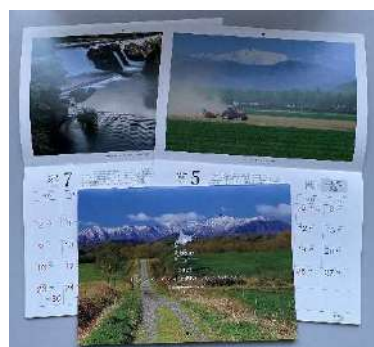
【場所】 撮影：南十勝夢街道エリア 販売：南十勝夢街道内商工会及び道の駅、帯広市内など

【主催】 十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

【参加人数】 フォトコン応募者数：53名 応募作品数：195点 カレンダー：1,000部作成



2022フォトコンテスト
募集チラシ



2023年カレンダー
制作・販売



フォトコンテスト審査会 10/6



巡回パネル展（更別村）
7月～10月

十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

TOKACHI Scenic Byway MINAMITOKACHI YUMEKAIDO

活動名：シーニックカフェスタンプラリー

【概要】

ルート内のシーニックカフェを楽しみながらめぐっていただくと共に、訪れた方へ南十勝夢街道の景観の素晴らしさや、ルート内の魅力を知っていただくため、平成26年度からルート独自で実施している。

【実施内容】

ルート内のシーニックカフェ4施設にラリー台紙およびスタンプを設置し、参加者は4施設全てでスタンプを押印し、カフェ店員に提出することで応募となる。応募者全員に南十勝夢街道フォトコンテストカレンダーを送付。

【開催期間】令和4年7月16日（土）～9月30日（金）

【参加施設】シーニックカフェ 4施設（道の駅さらべつピポパ、シーニックカフェちゅうるい、晩成温泉、ひろおサンタランド・サンタの家）

【主催】十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

【応募人数】10名（十勝管内：4名、十勝管外：1名、北海道外：5名）



スタンプラリー用紙（表面）



スタンプラリー用紙（裏面）

スタンプ台紙

シーニックカフェ	自治体
道の駅さらべつ 観光と物産の館「ピポパ」	更別村
ちゅうるい (忠類共栄牧場内)	幕別町忠類
原生花園 (大樹町晩成温泉内)	大樹町
広尾 (ひろおサンタランド内)	広尾町

十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

TOKACHI Scenic Byway MINAMITOKACHI YUMEKAIDO

活動名：マップ作成・配布

【概要】 南十勝夢街道エリアの特徴である「風景・景観」をテーマに、5町村連携の「南十勝よりみち・よりまちマップ」を作成し、配布した。南十勝を広域で紹介することで、ドライブ観光客の周遊を促すことを目的に、各町村の特産品や、南十勝のテーマである「日高山脈の風景」、おすすめの景観スポットなどを紹介した。今後も観光プロモーションと合わせてPRを継続していくこととしている。

【発行】 令和4年9月

【主催】 南十勝地域協働型道路マネジメント検討会、南十勝夢街道

【マップ仕様】 サイズ：A2

配布箇所：エリア内5町村の商工会、道の駅や観光施設等の情報拠点など
(一部管外でも配布)



マップ配布の様子

左：道の駅忠類／右：幌加除雪ステーション（北十勝）



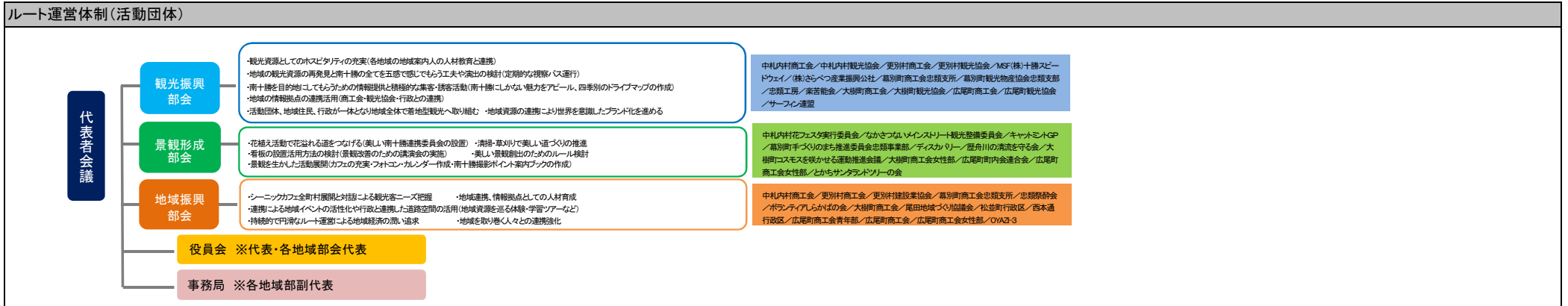
<南十勝よりみち・よりまちマップ>

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称: 十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道	報告者: 十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道 代表 高木 修一	報告年月日: 2023/3/31
----------------------------	-----------------------------------	------------------

活動団体

中札内村商工会、中札内村観光協会、中札内花フェスタ実行委員会、なかさつないメインストリート環境整備委員会、更別村商工会、更別村観光協会、MSF(株)十勝スピードウェイ、(株)さらべつ産業振興公社、更別村建設業協会、幕別町商工会忠類支部、幕別町観光物産協会忠類支部、忠類工房、楽苦能会、キャットミントGP、幕別町手づくりのまち推進委員会忠類事業部、ディスクアリー、忠類祭酔会、ボランティアしらかばの会、大樹町商工会、大樹町観光協会、歴舟川の清流を守る会、大樹町コスモスを咲かせる運動推進会議、尾田地域づくり協議会、松並町行政区、西本通行政区、大樹町商工会女性部、広尾町商工会、広尾町観光協会、広尾町商工会女性部、広尾町商工会青年部、広尾町町内会連合会、サーフィン連盟、とかちサンタランドツリーの会、OYAZI-3



基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
ルート運営代表者会議			●6/13 代表者会議										
幹事会・部会							●10/6 観光振興部 会						
十勝SBW連絡会議				● 7/28								● 3/3	
その他連携会議(人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト、サイクルツーリズムルート協議会)		●5/10 100プロ総会		●7/1 静岡連携 フォーラム				●11/1 100プロ全体 会議	●12/6 道路協力団 体意見交換 会				
シーニックバイウェイ北海道			●6/1 制度評価委 員会道東ブ ロック意見交 換会			●9/1 全道ルート代 表者会議		●11/28 道東ブロッ ク会議				●3/17 包括連携協 定企業との マッチング会 議(リモート)	

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:十勝シーニックバイウエイ 南十勝夢街道	報告者:帯広開発建設部	報告年月日:2023/3/31
---------------------------	-------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成24年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
地域	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を盛り上げるイベントに取り組む ・地域の活動を活かし、より大きな活動につなげる ・連携の輪を広げ、活動を大きく育てる 	人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト	令和3年4月～令和4年3月	自治体 商工会 帯広開発建設部	植樹維持管理調査報告書の確認等を行った。植樹箇所は国道以外の場合もあることから、関係自治体等と連携して進めていく必要がある。	行政機関とルートが連携した取組を行うことにより効果がよりいっそう高くなっている。今後も行政とルートとの連携を強化しPRのため広域での取組を行っていく必要がある。	
観光	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の観光資源を発見し有効活用する ・人が集まる地域になるための情報発信 ・訪問者に満足してもらうための情報共有 ・「見る・遊ぶ・食べるの充実」 	十勝シーニックバイウエイPR活動	令和3年4月～令和4年3月	帯広開発建設部	帯広空港ターミナルビル株式会社の協力を得て、十勝シーニックバイウエイと秀逸な道の紹介、説明などのPRパネルの展示を行った。空港での開催であるため、道外からの観光客が多く、十勝の魅力を発信する機会となった。また、帯広地方第2合同庁舎、道東占冠PAにPRポスターの展示やデジタルサイネージの活用など、十勝SBWの周知を行った。今年度から、来客と周遊を目的に各自治体、主要観光施設等での秀逸な道ポスターの掲示や各自治体及び秀逸な道の景観ポストカード設置を行った。今後も行政とルートが連携し、コロナ禍でも行えるPR活動とコロナ収束に向けた準備を行っていく必要がある。		